

あなたと、
あなたのまわりの人に

署名の協力をお願いします

持つのも、使うのも、試すのも、脅すのも

「核兵器はやめよう!」と、

世界のリーダーに
伝えよう!

1万7300発以上。これは、現在、世界にある核兵器の数です。「隣国が持つなら自国も…」と、互いが競り合い、これほどの数になってしまいました。

ヒロシマ・ナガサキでは、たった2つの原子爆弾で21万人が命を落としました。またイラクでは「もう1つの核兵器」といわれる米・英軍が残した劣化ウラン弾で、子どもたちがガンで苦しんでいます。パルシステム東京は、「これ以上、放射能の被害者を出してはいけない…」という思いで、核兵器廃絶の活動に取り組んでいます。

現代を生きる私たちの、今の行動が問われています。あなたも署名という形で、世界のリーダーに核兵器廃絶を訴えましょう。

カンパの協力もお願いします

NPT再検討会議期間中は、被ばく者の代表が国連本部などで被ばく体験を伝える原爆展を開催します。「被爆者NY派遣と原爆展開催支援カンパ」への協力もお願いします。

カンパのご協力は、6ケタ番号「**101770**」でお申込ください。
申し込み期間:11月14日(金)まで 金額:ひと口200円(ひと口から何口でも)
いただいた募金は日本生協連を通じ、全額、日本原水爆被害者団体協議会に贈呈します。



▲子どもの健康を守る「赤べこ」を手にするイマーンちゃん(写真提供、JIM-NET)

私たちは、戦争や紛争でガンになってしまう悲劇はヒロシマ・ナガサキだけと考えがちです。しかし、イラクには、劣化ウラン弾などでガンになり闘病している人々がたくさんいます。治療も受けられずに亡くなるケースもあります。ヒロシマ・ナガサキ同様、兵器により被ばくし、命の危険にさらされる悲劇は、今も起こっています。みんなの声で、この悲劇を私たちの世代で終わらせましょう。

今回の核兵器廃絶を求める署名活動は、広島県生活協同組合連合会、長崎県生活協同組合連合会、平和首長会議、日本生活協同組合連合会の呼びかけで、事務局を公益財団法人広島平和文化センターが担う形で進められています。呼びかけ団体より、組合員のみならず、以下のメッセージが届いています。

自分にとっていちばん大切なもの、そして平和 —「核兵器禁止条約」の早期実現をめざして

あなたがどんな場合でも失いたくないものは、何ですか？ 家族や友人、恋人、住まいや思い出の品々など、人それぞれでしょう。自分にとってとても大切なものに囲まれて生活できること、それが「平和」だと思いませんか？

その大切なものが自分の周りから消えてしまったときの気持ちを考えてみてください。事故や事件、災害が自分の周りで突然起こり、大切なものを失ってしまう可能性はゼロではありません。

広島と長崎では、今から68年前の1945年8月6日、そして9日、まさに筆舌に尽くし難い悲劇が突然起こったのです。一発の原子爆弾が街の上空で爆発し、何万人という人々が一瞬のうちに亡くなりました。そして、被爆の翌日、2日後、1カ月後と、負傷し、放射線の影響を受けた人々が次々と息絶えていきました。両市合わせてその年の終わりまでに21万を超える命が消えてしまったのです。こうした事実は人類の長い歴史のなかで他にはありません。

みなさん、今一度、いちばん大切なものをある日突然失ったときの気持ちを考えてみてください。

「平和」は安らかな生活の基本です。戦争はあってはいけません。特に、何の罪もない多くの人々を一瞬のうちに殺りくし、街を破壊する核兵器は、人の道に反する非人道兵器の極みであり、許すことのできない「絶対悪」です。

世界の自治体で構成する平和首長会議には、2014年5月1日現在、158の国・地域から6,035の都市が加盟しています。そのうち、日本国内の自治体は1,448であり、全市区町村の83.2%に及んでいます。会長は広島市長、副会長は長崎市長をはじめ世界各地の15人の市長が務めており、事務局は公益財団法人広島平和文化センターが担っています。

自治体には住民の生命・財産を守る使命があります。あってはならない「絶対悪」をなくすため、平和首長会議では、世界中の多くの人々の後押しにより、2020年までの核兵器廃絶をめざしています。そのための最も効果的な手段が、核兵器の開発、製造、実験、備蓄、使用等の禁止および、その廃絶について規定する「核兵器禁止条約」です。

広島県生活協同組合連合会、長崎県生活協同組合連合会、平和首長会議、日本生活協同組合連合会は、お互いに協力し、「核兵器禁止条約」の早期実現をめざした取り組みを進めています。

みなさん、「核兵器禁止条約」の一日も早い実現に向け、条約の交渉開始等を求める署名活動にご協力をお願いします。

MEMO

署名は誰に渡すの？

この署名は、NPT(核不拡散条約)再検討会議の開催に合わせて、国連に届ける予定です。

MEMO

NPT再検討会議って何？

核兵器をもつ国が増え、米・英・仏・露・中を核兵器国と定め、5カ国に核軍縮を義務づける「核不拡散条約(略称NPT)」が制定されました。しかし核兵器は増え続けたため国連は、5年ごとに実質的な核兵器廃絶をめざす会議を開催しています。この会議が「NPT再検討会議」です。

MEMO

署名って、意味あるの？

署名は、一人ひとりが同じ思いを抱いていることの証です。署名が多数になることで、世界のリーダーはその思いを無視できなくなり、影響を受けます。自らの署名はもちろん、周りの人に広げることが、核兵器禁止条約の締結、そして核兵器のない平和な社会の実現の一歩になります。